

第1回 山科の未来を語る懇談会における主な意見

1 まちの魅力の創出、発信に関する意見

- (1) 山科の交通は便利だが、山科駅は通過地になっている。疏水通船でも山科で下船する人が少なく、魅力の発信が重要である。
- (2) 山科は山に囲まれ、自然が豊かであり、交通も便利になってきて、住みやすいまちである。
- (3) 友人に山科のおすすめの場所を案内しようとした際、まだまだ山科の魅力が発信できていないと感じたので、新たな魅力を創出するとともに、山科の魅力を発信していくべきだ。
- (4) 出生率が全市で3番目に高く、生まれてくる子どもは少ないが、小学校に入る頃には、家族で区外へ転居されている傾向があることは非常に残念。子どもは社会の宝で、生まれた山科で育て欲しいし、親にも子育てしやすいと感じてもらうための魅力が必要。
- (5) かつて山科は陸の孤島とも言われたが、経済界も努力するので、行政も都市基盤の充実を図っていただきたい。

2 ポイントとなる5つのエリア、賑わい拠点に関する意見

- (1) 山科のまちの構造上、山科駅前と榊辻周辺は、まちの拠点になっており、拠点を繋ぐことで、人の流れができ、まちや、人が生き生きする。こうした観点で考えると、京都刑務所を含む榊辻周辺エリアは、まちの活性化を検討するうえで重要な場所である。
- (2) 山科区で、山科駅前に次いで賑わい拠点となるのは、商業圏で活気のある榊辻周辺であると思われるので、そういう意味でも、刑務所敷地の活用の必要性は理解できる。

3 京都刑務所敷地の活用に関する意見

- (1) 刑務所は子どもの頃からあったので、その存在に違和感はないが、山科中心部の広大な敷地であり、地下鉄駅にも近く便利な場所なので、有効活用しないともったいない。
- (2) 刑務所敷地を活用できるのであれば、教育、医療、文化芸術など色んな分野が融合され、色んな人が足を踏み入れる場所になって欲しい。
- (3) 刑務所敷地を人工知能など我が国の最先端の技術を研究する拠点として活用できれば、雇用も生まれ、その成果が山科の教育や産業、農業などに還元されるのではないかな。